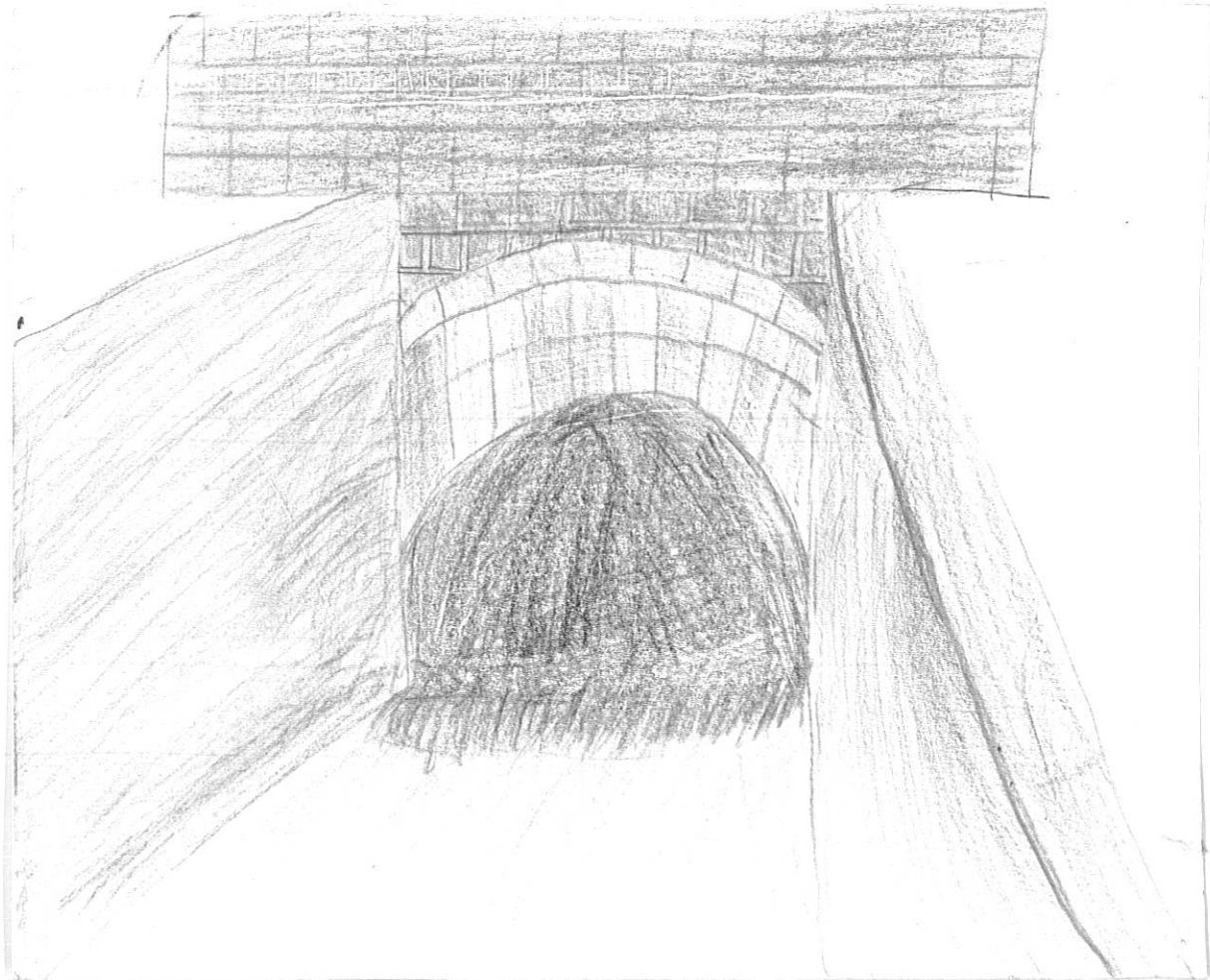


西光寺野子



正東水

5年1組山本純也

## 調べたきかけ

3年生の時の授業で西光寺野疎水のことが出て、興味を持ち、ため池や疎水を調べました。

## 西光寺野とは？

神崎郡の南東にあり、田原、八千種、船津、山田、豊富の5地区にまたがっていて、南北が8kmほどある細長い形になっています。この台地は、よくこえた土地で、水田にめぐまれています。しかし、昔は今のようには開けていませんでした。そのふきん一帯は森や林におおわれ、米や野菜を作ることができず荒れたままの土地でした。昔の人々は、なんとかかいたくをすすめたいと考えましたが、西に流れる市川、東に流れる平田川どちらも西光寺野台地よりも低く、水を引くことが難しかったそうです。

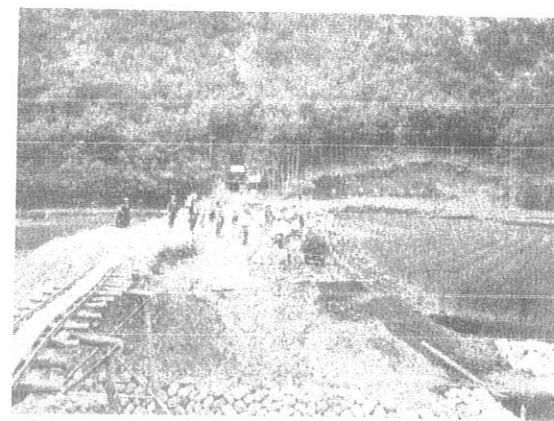
## 用水路各の開発

明治41年、調査開始、人々の原真いが高まって、田に水を引く計画が進め始められました。まずそのための調査が3年にわたって熱心に続けられました。その結果、瀬加の岡部川から水を引くことになりました。下瀬加のう生田に水の取り入れ口をつくって、そこから水路をつくり、これまでにある池を修理

したり、新しい池をつくったりして水を引く計画をしました。明治43年12月27日に着工、この日、西光寺野予水利組合ができました。大正3年1月31日北浦谷貯水地が完成、この池は、岡部川から水の入らない高い土地に水を引くため、日光寺山の下につくられたため池です。大正3年6月15日桜池が完成、岡部川の用水路は長さ6kmあまり、その間はトンネルがあり、水路各橋が7つに暗渠、開渠といろいろむずかしい工事でした。一番困難なトンネルは長さ500mほどもあり、その中は人がやと入れるほどのせまさです。何回も困難にあて、夜も昼もなしに工事が続けられ、2年ほどでやとできあがりしました。人々はうまく水が通じるかたいへん心配しました。大正3年10月21日、用水路各が完成と



北浦谷貯水池



7号トンネル工事施行中



7号トンネル出口完成



同時に水を通しました。たくさんの人々がかたずきののんで見ていました。予定の量の水がいきおいよく貯水地に流れ込みました。心配していた人々、見ていた人々はおどろきと喜びの声をあげて、なみだを流したそうです。大正4年2月20日奥池が完成、池と池とは水路でもすばれ、貯水と配水の便がよくなりました。

### 用水路完成後の変化

こうしてこの地域に水田が広がりました。冬の間水をとくわえておいて稲を作る時期に利用できるようになりました。西光寺野の開かれる前後を比べてみると、田の広さは約460倍になり、住宅の数も数十倍に増えています。今まで取れなかつた米がたくさん取れるようになりました。しかし、用水路各はかんたんにてきるものではありません。200億円以上の費用と昔の人たちの願いや努力と苦勞のおかげで今のような西光寺野に変わ、たのです。その後、昭和28年8月から8年がかりで改修工事が進められました。

西光寺野のかいこんでセクリ用いた田は運重カ土易の600倍の広さ。この表から木を全部切、て根をほり起こして、石を取、て、平らにして田を作る。おそろしい仕事量です。

開発前の台地

|   |   |   |    |     |
|---|---|---|----|-----|
| 山 | 林 | 畑 | 野原 | その他 |
|---|---|---|----|-----|

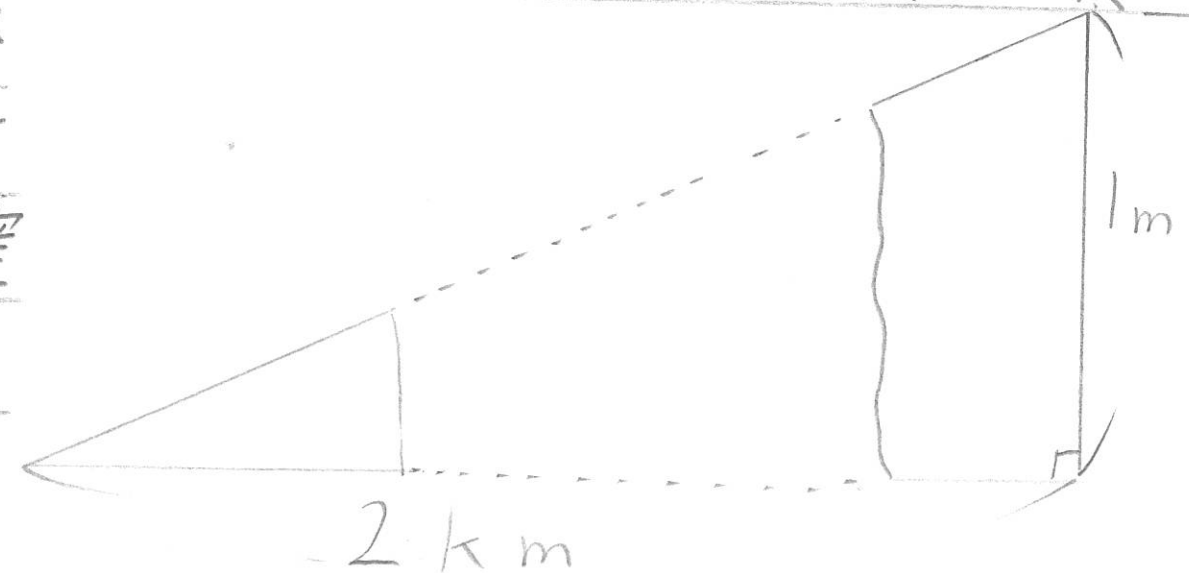
開発後の台地

|   |  |  |  |     |
|---|--|--|--|-----|
| 田 |  |  |  | その他 |
|---|--|--|--|-----|



## 調査の内容

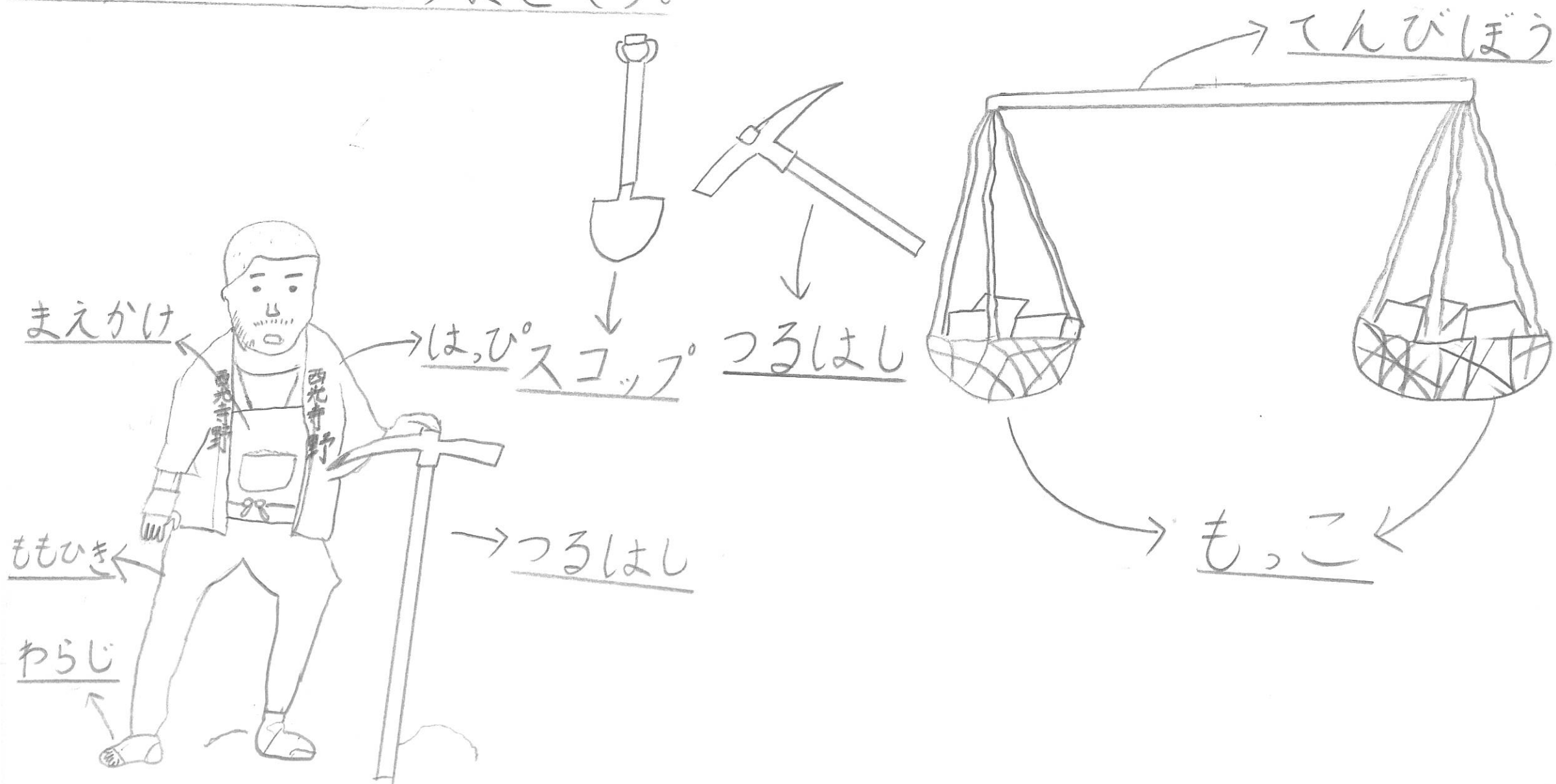
3年もかけてどのような調査をしたかという、一番大事なことは土地の高さをはかること。市川から水をひこうと思っても、水は低い所から高い所へは流れない。では、どこから水を取り入れてどこを通すか。それを考えながら、西光寺野予台地全体と市川町の瀬加の土地の高さを調べていた。そうして決めたのが瓜生田(瀬加)の岡部川から水を取り入れることだった。あとはほるだけ...というようなかんたんなものではない。水は高い所から低い所に流れる。ジェットコースターのように低くなつてからまた上がっていくような水路では何の役にも立たない。高さがびしりと書きこまれた地図を元に工事をしていくのだ。用水路のかたむき具合は2000分の1。2000<sub>m</sub>進んで1<sub>m</sub>下がる。そんな坂を作るのだ。そのと中山があればトンネルを、土地が低くなつていれば橋をかけたり、土地をもつて高くしたり...それを正確に高さをはかりながらするのだ。このころは、コンクリートは使っていない。石を組んだリ、



レンガを使ったり土をもりあげたりしてつくっている。

### 昔の工事中の服そうや道具

工事中の服そうは、下の絵のように、ひも、まえかけ、ももひき、わらじを着ていました。道具は今ののようにトラックというわけではなく、スコップやつるはし、もっこ、てんびんぼうなどです。

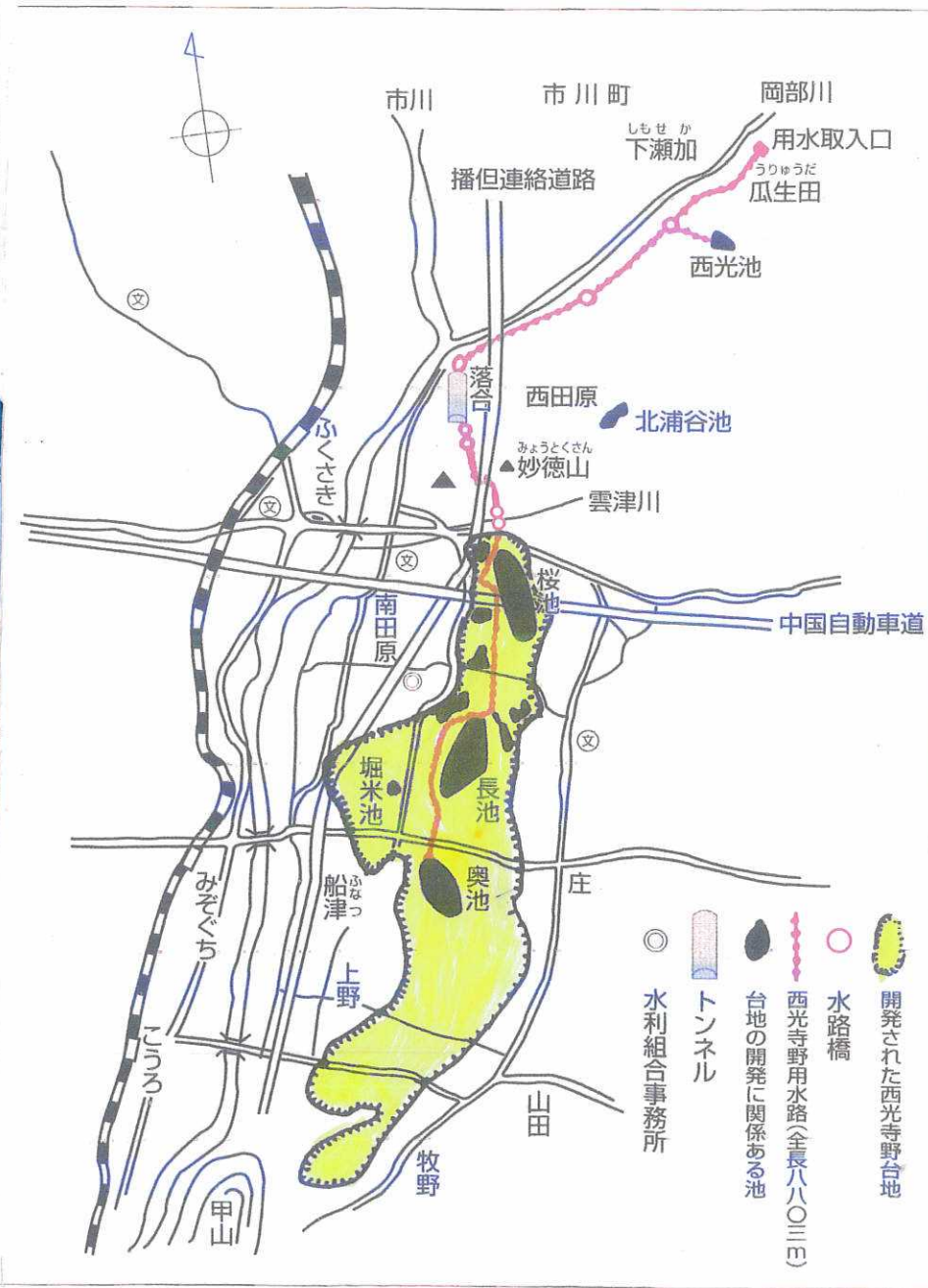






(左)桜上池 (右)桜下池

# 西光寺里予台地のため池群



西光寺野台地のため池群のひとつ

さくらしたいけ

## 桜下池

取水地点より 5.5km

西光寺野地域は姫路市から福崎町に跨る馬の背状の台地で約250haの水田を有し、岡部川中流の市川町下瀬加瓜生田から農業用水を取水してかんがいしています。その疏水路やため池を整備する大事業は苦勞の末大正4年に完成しました。本池は大正元年から3年に増築されました。

西光寺野台地のため池群のひとつ

さくらうわいけ

## 桜上池

取水地点より 5.1km

西光寺野地域は姫路市から福崎町に跨る馬の背状の台地で約250haの水田を有し、岡部川中流の市川町下瀬加瓜生田から農業用水を取水してかんがいしています。その疏水路やため池を整備する大事業は苦勞の末大正4年に完成しました。本池は大正元年から3年に増築されました。

西光寺野台地のため池群のひとつ

ながいけ

## 長池

取水地点より 6.6km

西光寺野地域は姫路市から福崎町に跨る馬の背状の台地で約250haの水田を有し、岡部川中流の市川町下瀬加瓜生田から農業用水を取水してかんがいしています。その疏水路やため池を整備する大事業は苦勞の末大正4年に完成しました。西光寺野ため池群最大の長池の築造は、旧長池と旧左衛門池を一つにするものでした。

西光寺野台地のため池群のひとつ

おくいけ

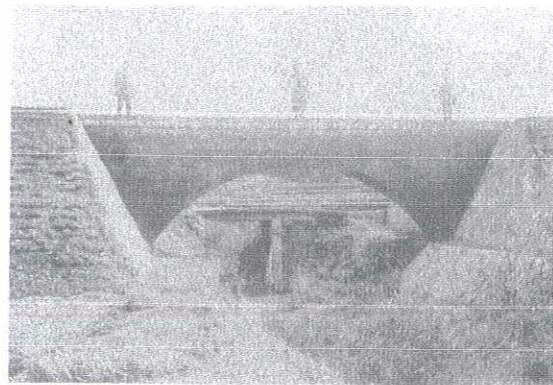
## 奥池

取水地点より 8.0km

西光寺野地域は姫路市から福崎町に跨る馬の背状の台地で約250haの水田を有し、岡部川中流の市川町下瀬加瓜生田から農業用水を取水してかんがいしています。その疏水路やため池を整備する大事業は苦勞の末大正4年に完成しました。本池は大正元年から3年に増築されました。



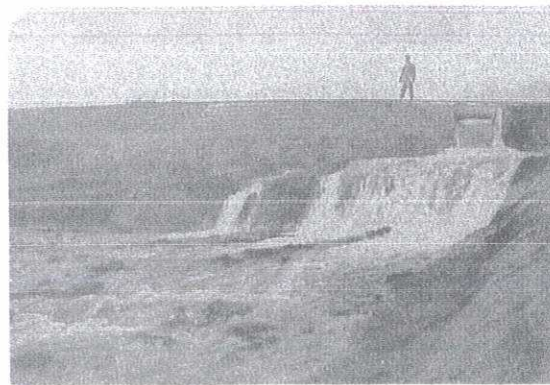
完成直後



妙徳山前雲津川煉瓦水道橋(当時)



北條街道大門付近(当時)



長池流入口(当時)



妙徳山前雲津川コンクリート水道橋(現在)



北條街道大門付近(現在)



長池流入口(現在)

今の  
疎水  
足口







# 感想

西光寺野の勉強を通して、昔の人をそんけいするようになりました。機械の無い時代に森林をかいたくし、山に水を通すこんな大変な作業を進められた人はすごいと思います。今回、西光寺野の台地のため池や正東水を見て回りました。最初にため池を見た時、「こんなたくさんの水が瀬戸加から流れているんだ」と思いました。ぼくは、福山奇町にこんなにも歴史のある物が今でも残っていることをみんなにも知ってほしいと思います。

参考書

わたしたちの神山奇郡

(社会科地域学習副読本)

町立田原小学校編 西光寺

野普通水利組合耕地整理組合事業



北野地域付近



山の中の正東水



第8回 福崎町柳田國男ふるさと賞出品票

|            |                          |    |   |
|------------|--------------------------|----|---|
| 学校名        | 田原小学校                    | 学年 | 5 |
| ふりがな<br>氏名 | やまもと じゅんや<br>山本 純也       | 番号 |   |
| 題名         | 西光寺野疎水                   |    |   |
| 内容         | 西光寺野疎水の歴史と<br>現在の様子を調べた。 |    |   |